

2-9-1 本能寺跡

天正 10 年（1582）6 月 2 日、明智光秀が謀反を起こして、京都本能寺に宿泊していた主君織田信長を襲撃した。包囲された信長は、寺に火を放ち、自害して果てた。

信長の嫡男織田信忠は、妙覚寺から二条御新造に退いて戦ったが、万策尽きて自害した。長近の嫡男忠次郎も二条城で一緒に亡くなっている。

<寺町御池の本・寺>

京都府京都市寺町御池にあり、寺名は「大本山 本・寺」である。一般的には、本能寺と呼称されている。

天正 17 年（1589）、秀吉は本能寺の再建を現地再建でなく、寺町御池に移転を命じた。本能寺の戦没者合祀碑には、金森長近の嫡男金森忠次郎の名前が記されている。

リーフレットより